

**第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 4 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答**

事業番号 2 事業・取組名 健康教育	
意見	<p>このところ続けて保育所などでリンゴを詰まらせて窒息した事故があった。昔からリンゴは離乳食としてわりと良く使われていたものと思う。あらためて月齢にあわせた食形態、食べさせ方（+応急処置）を知識として学んでもらう必要があると思う。</p> <p>電子レンジの利用も増えたり、食品の種類も昔よりますます多くなっている。ぜひ、現代に合わせた形で進めてほしい。</p>
回答	<p>こども未来課 すくすく親子健康課</p> <p>こども未来課</p> <p>保育所などでの食品等の誤嚥による窒息事故の予防については、国が作成した「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生の対応のためのガイドライン」の中で、重大事故が発生しやすい場面ごとに、十分な事前教育の実施や、日常的な点検、組織的な取組等の事故の防止のための取組を示しており、保育所等の各施設には、ガイドラインについて情報提供し、取組を徹底していただくようお願いしております。</p> <p>愛媛県新居浜市及び鹿児島県始良市の事故が発生した際には、今年 5 月に、各施設に対しガイドラインの再周知を行い、重大事故につながりやすい睡眠中のうつぶせ寝や食事時の誤嚥について、事故防止のために必要な取組が確実に取られるよう改めてお願いしております。</p> <p>また、節分行事が近い時期などには、リンゴに限らずナッツ類などの食材についても十分に注意するよう周知しており、今後も機会を捉えて事故の防止に向けた注意事項の周知に努めてまいりたいと思います。</p> <p>なお、市では、園での保育内容の向上を図るため、保育従事者を対象にした研修を八戸市保育連合会に委託して実施しており、その中で、給食内容や食の安全等の充実を図るための研修も年 1 回以上開催しております。</p> <p>すくすく親子健康課</p> <p>当課の健康教育は、妊婦や乳幼児の保護者等に対して、栄養士や保健師が健康教育をしております。特に離乳食教室では、生後 3～5 か月児の保護者を対象に、初期の離乳食について指導をしており、市ホームページには、初期から完了期までの段階に応じた離乳食の進め方や作り方の動画を掲載しております。</p> <p>委員ご指摘の月齢にあわせた食形態や食べさせ方についても、より丁寧に指導できるように努めて参りたいと思います。</p>

第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 4 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答

事業番号 - 事業・取組名 - - - - -	
質問	医療的ケア児童の入院について、保護者特に母親の付き添いの状況はどのようになっているか。
回答	市民病院 地域医療連携室
	<p>当院では、医療的ケアの必要なお子さまの入院につきまして、詳細なデータは取っていませんが、ほとんどのお母さまが付き添いをされており、付き添いを希望されない場合には、病棟スタッフの目が届きやすい病室に配置するなどしながら対応しております。</p> <p>また、付き添いされるお母さまに対しては、お子さまの病状が安定している時間帯は出来るだけ休息を取るよう、病棟スタッフからお声掛けするなど、付き添いによる負担の軽減に努めているところであります。</p>

**第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 4 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答**

事業番号 - 事業・取組名 - - - - -	
質問	<p>広報はちのへリニューアル及び特に子ども子育て関連の記事が増えていると思うが、反応や効果は。</p>
回答	<p>広報統計課</p> <p>5月から計24件のご意見・感想が、電話、Eメール、市長への手紙、SNS等で寄せられている。</p> <p>うち20～30代からは、「表紙のデザインが良い」「フルカラーになって以前より読みやすくなった」「子どもファースト事業の特集がよかった。毎月楽しみにしている」「子どもと一緒に読める特集ページになっていた」「子どものイベント等の情報が載っていて助かる。もっと増やしてほしい」という好意的な意見が大半であり、リニューアルのターゲット世代である子育て世代には一定の効果があったものと認識している。</p> <p>一方で、主に60代以上の方からは、「右開きのままでよかった。横書きが読みづらい」「フルカラーで紙質も良くなり豪華すぎる。他のことに予算を使うべきだ」という意見が多かったことから、今後も効果的な市政の情報発信を目指すとともに、リニューアル初年度の広報はちのへの活用状況や、皆様のご意見を参考にしながら、引き続き改善に努めていく。</p>

**第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 4 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答**

事業番号 28 事業・取組名 新・放課後子ども総合プランの推進	
質問	<p>新・放課後子ども総合プランの推進ですが、八戸市内の学校に対しての基準はどのよう にして決めているのか知りたい。全学校に対し、放課後こども教室はどれくらいまで 進めるのでしょうか。</p>
回答	<p>子育て支援課</p> <p>新・放課後総合プランは、共働き家庭等の「小 1 の壁」を解消し、全ての児童が放課 後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、「放課後児童ク ラブ」と「放課後子ども教室」の 2 つの事業の計画的な整備を推進するため国が策定し たプランで、市では同プランに基づき、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の推進 方策を定め事業を実施しております。市では、これらの他に放課後の児童が利用する施 設として、児童館を設置しております。</p> <p>「放課後児童クラブ」は、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童の放課 後の居場所として、適切な遊びを中心とした生活の場を提供する事業であり、主に児童 館のない地区に設置しているもので市内に 49 クラブ開設しております。市では、それ ぞれの地区の就学児童数や児童クラブの利用希望の状況を調査しながら、放課後児童 の受け入れ体制が十分でない地区において、クラブの新規開設や増設、移設などに係る 支援、調整を行っております。</p> <p>また、「放課後こども教室」は、地域の方々の協力により、放課後や土曜日等に全て の小学生児童を対象に多様な体験や交流活動の機会を提供する事業であり、その実施 計画では、令和 5 年度末まで毎年度 1 か所以上の新規開設を図ることを掲げておりま す。しかしながら、新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、今年度実施している地区はコ ロナ禍前の 6 地区から減少し 2 地区にとどまっております。市では、子どもたちが放 課後を安全・安心に過ごし多様な体験・活動ができるよう開催地区の増加を図りたいと 考えており、現在、市内小学校及び地域密着型教育コーディネーターに対し、事業内容 の周知を図るとともに、放課後こども教室の開催に向けた検討を依頼しているところ であります。</p>

**第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 4 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答**

事業番号 26 事業・取組名 放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)	
意見	<p>放課後児童の居場所づくりとしての「放課後児童クラブ」は、とてもニーズが高まっております。子どもたちや家庭の様々な状況に対応しながら運営してくださっています。本校では、校舎内にあり連携しながら取り組むことができ感謝しています。ただ、施設として古くなっており、プールも使用できなくなったため活動の幅も狭くなるなど、窮屈な思いをさせてしまっている状況があります。また、子どもたちに支援が必要な状況もあり対応に苦慮されているところがあります。子育て支援課の方にもたくさんご協力をいただいておりますので、今後も環境整備など進めていただければ、より安全で子どもたちのためにも保護者のためにもなる居場所になると思います。</p>
回答	<p>子育て支援課</p> <p>放課後児童クラブは、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生児童を対象として、授業終了後や長期休暇中に、小学校の余裕教室、保育園、民間借用物件等において、適切な遊びを中心にした生活の場を提供する事業であり、今年度は昨年度から 1 クラブ増の市内の 49 クラブで実施し、学校をはじめ地域や関係機関と連携しながら、児童の健全な育成を図っております。</p> <p>各クラブでは、放課後児童支援員が、児童が安全に安心して過ごせるような環境づくりを行っておりますが、クラブの中には、施設の老朽化等により環境改善が必要となっているところもあり、その場合は、クラブが市の委託料の範囲内において施設の修繕や設備の更新を行っております。</p> <p>このほか、高学年の児童の受入れ等により児童数が増加する場合や、防災・防犯対策の実施に伴う設備の整備・修繕や備品購入に際しては、児童クラブの環境改善事業として、委託料を増額する制度を設けております。</p> <p>また、小学校内において開設している児童クラブについては、教育委員会と連携を図りながら、児童クラブとして使用している教室等の改修や修繕を実施しております。</p> <p>市としては、各クラブにおいて、児童が安全に快適に過ごせる環境を整えることができるよう、引き続き支援してまいります。</p>

**第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 4 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答**

事業番号 32 事業・取組名 「八戸版ネウボラ」の推進	
意見	<p>こども支援センターの設置により、関係課や相談機関などとの連携が進み、未就学児などの早期からの相談もしやすくなっているように感じています。子どもも保護者の方も安心して相談でき、継続・連携しての相談対応によって、学校での支援や体制づくりでもとても助かっています。今後、相談数も多様になっていくことと思いますので、人的にも組織的にも手厚くしていただければ、さらに「八戸版ネウボラ」につながると思います。</p>
回答	<p>こども支援センター</p> <p>「八戸版ネウボラ」は、子どもから大人までみんなが安心して過ごせるように八戸市総合保健センター内のすくすく親子健康課、こども家庭相談室、こども支援センターの保健・福祉・教育の専門員が相互に連携し、意見交換しながら子どもや家庭に関する悩みを一体的に支援する相談体制です。</p> <p>こども支援センターでは、教育環境の整備を目的とした幼児児童生徒に関わる相談窓口として、学校や園、保護者からの相談対応や専門的な立場から必要な支援について助言を行っておりますが、年々、相談件数は増加しており相談内容も複雑且つ多様になってきていることから、令和 3 年度に幼児教育アドバイザーを 2 名、令和 4 年度には特別支援教育専門指導員 2 名と特別支援教育アドバイザー 1 名を増員し、相談体制を整備したところであります。</p> <p>今後は相談員の質の向上に努めるとともに、引き続き三部署が相互に連携し「八戸版ネウボラ」を推進してまいります。</p>

**第 2 期八戸市次世代育成支援行動計画後期計画 令和 4 年度実施状況に関する
質問・意見に対する回答**

事業番号 46 事業・取組名 特別支援教育アシスト事業	
意見	<p>学校では学習面や行動面で支援をするために様々工夫をして取り組んでいます、教員不足もあり、十分に個々に対応しきれない状況があります。その中で「特別支援教育アシスタント」によって、個々の児童の状況に合わせた支援が可能になり、担任が多くの児童の指導や支援ができる環境が整っています。複数を配置していただくとより支援が可能になりますので、人数の増員などもしていただければと思います。このことで、さらに支援を要する児童やその保護者も助かるものと感じています。</p>
回答	<p>こども支援センター</p> <p>市教育員会では、平成 19 年度から特別な教育的配慮を要する児童生徒への支援の充実を図るため、市内小・中学校に特別支援アシスタントを配置しております。</p> <p>事業開始時は 7 名の配置でしたが、年々増員を図るとともに、平成 26 年度からは年度途中からの追加配置を進め、支援の充実に努めてきたところです。</p> <p>今年度も小・中学校 60 校に対して、合計 80 名を配置し支援にあたっておりますが、配置にあたっては、要望のあった学校を訪問して実際に現状を確認したうえで配置を決定しており、状況によっては複数人配置している学校もあります。</p> <p>しかしながら、市内の小・中学校では、特別な配慮を必要とする児童生徒が増加しているだけでなく、その特性が多様化・重複化している状況にあります。</p> <p>従いまして、さまざまな児童生徒に対応できるよう、特別支援アシスタントの専門性を高め、支援の質を向上させていくことが最優先であると考えております。</p> <p>さらに、採用は公募としておりますが、応募者自体が減少している現状から、一定の支援の質を保つためには、増員以上に支援の質の確保・向上が優先課題であると考えており、特別支援アシスタントを対象にさまざまな研修を実施しております。</p> <p>今後も特別支援アシスタントの支援の質の向上を目指した研修を継続的に実施し、特別な配慮を必要とする児童生徒に対し、きめ細やかな支援に取り組んでまいります。</p>